

未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業 授業改善セミナー

# 教科指導講座報告

道南ブロック  
外国語(英語)

令和元年10月2日  
(主管教育局 胆振教育局)

令和元年10月2日(水)、北海道苫小牧東高等学校を会場に、未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業授業改善セミナー「教科指導講座 道南ブロック外国語(英語)」を開催しました。本講座では、公開授業、ワークショップ・実践発表のほか、「単元や題材など内容や時間のまとまりを見通し、育む資質・能力の育成に向けた授業改善」について研究協議を行いました。当日は、胆振、日高、渡島管内の公立高校の英語教諭だけでなく、市内の中学校や私立高校からの参加により参加者が24名となり、大変充実した講座となりました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用ください。

## 教科指導講座の概要

### テーマ「英語学習における深い学びに向けて」



#### 公開授業・研究協議 1

「担当教員間で到達目標を共有でき、生徒が主体的・対話的になり、生徒と教師がともに深く考えたくなる」ワークシートベースの授業実践 北海道苫小牧東高等学校 高西 貴幸 教諭

#### 説明 「新学習指導要領とこれからの授業づくり」



#### ワークショップ・実践発表 1

「育成したい資質・能力を意識した指導と評価」

北海道長万部高等学校 木村 圭祐 教諭



#### ワークショップ・実践発表 2

「本当の英語力って何だろうから始まる授業改善」

北海道苫小牧総合経済高等学校 耳浦 聡 教諭

研究協議 2 「単元や題材など内容や時間のまとまりを見通し、育む資質・能力の育成に向けた授業改善」について

### 本講座の実施により期待される成果

課題解決に向けた主体的・対話的で深い学びの実現(「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善)、実践的な「教科指導力」の向上、ICTの活用、各学校における授業改善の視点の拡大

### 教科指導講座の実施状況

#### 公開授業・研究協議Ⅰ

授業では、生徒の思考力や表現力を育成する視点から、単元に関する多数の写真等をICTで提示しながら、生徒の発言を促す活動が行われました。研究協議では単元指導の説明とともに、生徒に深い学びへと導く「Big Question」の取組について紹介いただきました。



#### ワークショップ・実践発表Ⅰ

Backward Designという考え方に基づき、CanDoリストから評価規準、生徒の言語活動を組み立てる実践を紹介いただきました。また、生徒の思考力・判断力・表現力を育成するため、生徒のワクワク感、発問の使い分け、多様な思考・答えに対する容認度の高さなどを心がけて指導を行っているとのことがありました。

#### ワークショップ・実践発表Ⅱ

課題研究として生徒が行った空港でのインタビューやポスターを作成して世界の国々についてプレゼンテーションを行う実践について紹介いただきました。また、生徒が英語を実際に使うという場面の設定を工夫することで、生徒の意欲が非常に高まるとのお話がありました。



#### 研究協議Ⅱ

自分以外の学校の年間指導計画について、単元のまとまりの中での指導改善や指導と評価の一体化という視点からの授業改善の検討を行い、それぞれの学校にフィードバックするという協議を行いました。

### 講座参加者の声

#### 参加者の声（一部）

- 「ゴールから逆算して授業を組み立てる」ことを念頭にできることから頑張ろうという気になりました。
- 評価に関して自校では遅れている部分があると思っていたので、今回改めて考え改善すべきと再認識しました。
- 自校の改善点が明確になったので、次年度に向けた改善にすぐに取り組みたいです。
- もっとやる気を引き出し楽しいと思える授業をやりたいと思いました。
- 他校の先生の考え方に触れることは新鮮でした。

#### 参加者アンケートの結果（一部）

- 紹介した教材や指導方法は活用できますか
  - ・大いに活用できる 68.4%
  - ・活用できる 31.6%
- 主体的・対話的で深い学びの実現等の理解は深まりましたか
  - ・大いに深まった 42.1%
  - ・深まった 57.9%
- 授業実践力の向上に役立ちましたか
  - ・大いに役立った 57.9%
  - ・役立った 42.1%

今回のこの報告は、次のウェブページに掲載しております。

<胆振教育局ウェブページURL>

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ibk/koukouhan.htm>